

会議等結果報告書			
会議区分	会議	打合せ 協議	文書番号
			決裁期日
令和3年2月10日			
名称	第4回上富良野町障がい者計画策定委員会		
日時	令和3年2月9日(火) 15時00分～16時00分		
場所	保健福祉総合センター研修室		
出席者	(委員) 別紙名簿のとおり(出席13名) (役場) 鈴木課長、林下主幹、末永主査、飯村主査、加藤主任生活支援員		
内容	・委員長あいさつ		
	お忙しい中お集まりいただき感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染流行は下火となったようにも見受けられるがまだまだ油断はできない。いよいよパブリックコメントを終え、計画案をお示しできる時期となった。皆で最終確認を行っていききたい。		
	議題(進行:委員長)		
	1 パブリックコメントの実施…事務局より説明。		
	令和2年12月25日から令和3年1月24日までの間、パブリックコメントを実施し広く意見を募集したが、寄せられた意見は無かった。		
	2 福祉(障がい)に関するアンケート調査集計報告書…資料1により事務局より説明。		
	障がい者アンケートについては、前回の策定委員会において速報値としてお示ししていたが、冊子の態様による調査結果がまとまったので改めてお示しさせていただく。		
	本アンケートにより寄せられたニーズや明らかとなった課題は、第3期計画案に盛り込んでいる。		
	3 第3期上富良野町障がい者計画(案)…資料2		
	第3期上富良野町障がい者計画 概要版(案)…資料3により事務局より説明。		
	先にお示ししていた「たたき台」と基本的な内容はほぼ同じであるが、誤字脱字の修正や色付けなど、見やすくご覧いただけるよう手を入れさせていただいた。表紙の図案については事業所の通所児童が描いた絵や画像等の作品を採用できればと考えている。提供可能な事業所があれば、是非お声掛け願う。73ページには計画策定の経過を掲載しており、最終的には日付が全て記入されたものとなる。概要版は解りやすい説明を加え、内容に厚みを持たせるよう受託業者にオーダーしており、本日お示ししたものと内容が変更になる見込みである。		
	(質疑)		
	委員～アンケート調査には高齢者の方からと思われる感謝の言葉がある一方で、役所対応が上から目線である等の回答があり、障がい者の権利などきめ細やかな行政側からの情報提供がまだまだ不足しており、例えば相談の際などにも「こういう制		

内 容	度もある」等、本来の説明に加え更に派生した案内や説明も求められていると思う。
	主幹～広報誌媒体を活用するなどの更なる制度周知や総合的な案内ができるような説明手段を整備していきたい。
	4 その他
	・各委員には5回の会議を終えた後に報酬をお支払いすることとしているが、口座振込依頼書を未提出の委員は次回までに提出を願う。
	・こころの健康講座が3月26日に開催されるので、紹介させていただく。
	・次回（第5回）策定委員会は3月26日（金）15時から、かみん研修室で実施予定としている。
	委員長～全員が顔を合わせたせっかくの機会なので、これより情報交換の時間を設けることとしたい。
	副委員長～障がい者に対する施策については、内容を知らない人やわからない人が沢山いる中で、役場で作成している手引きは、障害者福祉協会の中で「こんなものがあるのか」との好意的な意見もある。多くのの会員に広げていきたいが、昨今のコロナ禍では総会など多人数を集めることは難しいと思う。
	委員～策定委員会に前半は都合で参加できなかった。過去計画の策定委員会にも携わってきたが、回を重ねるごとに障がい福祉分野の施策に拡がりを感じる。こうした計画が障がい者の父兄の悩み解決に繋がっていくことを強く望む。我々も更に勉強が必要と感じる。
	委員～以前の計画に比べ、旧計画の総括や振り返りが含まれているのがこれまでの計画とは大きく異なる部分であり、不足部分を次期の計画で補うことが出来ている。
	委員～サービス提供に携わる者として日々様々な相談を受けているが、事業所として出来ることを検証し、改めて福祉に貢献していければと思う。
	委員～障がい者や高齢者は自身がどのようなサービスを受けられるのか、わからない人が多い。事業を通じて、理解の助けとなるよう支援していければと感じた。
	委員～本計画内容をはじめとし、福祉サービスの普及啓発に事業所をあげて取り組んでいかなければと感じている。
	委員～昨今のコロナ禍のもと、感染に大きな不安を感じている利用者が多い。事業所として利用者の声に耳を傾け、不安が軽くなるようフォローしていければと思う。
	委員～今回初めて策定委員として計画策定に携わらせていただいた。これまでA型事業所のことしかわからなかったが、策定委員会を通じて見識が深まった。計画の内容は、事業所のスタッフや利用者にも広めていきたい。
	委員～策定委員として、なかなか顔を合わせる事のない委員とも意見交換などの素晴らしい経験をさせていただいた。事業所では、コロナ禍で通学できない子のケアを行っている。策定委員会で得た知識や情報はスタッフ間で共有したい。
	委員～発達支援に携わっている。現在支援中の児童には、将来的に障がい者施設のお世話になる子も含まれていると思うし、施設の代表者が揃う策定委員会で顔繋ぎが



第3期上富良野町障がい者計画策定委員会委員（第4回）

	団体名等	氏名	要綱	出欠
1	民生児童委員協議会	羽賀美代子	1号委員	出席
2	手をつなぐ親の会	佐藤 祥一	2号委員	出席
3	つばさ会	宮崎 守	2号委員	出席
4	身体障害者福祉協会	佐藤 輝雄	2号委員	出席
5	社会福祉協議会	吉河 祐樹	3号委員	出席
6	なないろニカラ	田中 章仁	4号委員	出席
7	エクウエート富良野 (富良野地域生活支援センター)	久田 到	4号委員	出席
8	富良野あさひ郷	水野 雄二	4号委員	出席
9	ヒューマンインターフェイス(株)	鈴木康治朗	4号委員	出席
10	(株)澄空	福永 将平	4号委員	出席
11	発達支援センター	床鍋のぞみ	4号委員	出席
12	児童相談支援センター	武山 義枝	4号委員	出席
13	一般公募	太田 恵子	5号委員	出席